

RFMD ニュース



rfmd.com

会社連絡先 :

RF Micro Devices Inc.

Brian K. Cockman, Public Relations Specialist

7628 Thorndike Road

Greensboro, NC 27409-9421, USA

電話: +1 (336) 678-8945

bcockman@rfmd.com

RFMD社、大電力GaNデバイスなど最新の 無線インフラ製品をIEEE MTT-Sで展示/デモ

新製品は無線基地局および軍用で到達距離の拡大に有効

ハワイ州ホノルル、2007年6月7日(IEEE MTT-S) : 移動通信駆動用各種アプリケーション向け高性能無線システム / ソリューションの設計、製造で業界をリードするRFMD社 (ナスダック : RFMD) は本日、ハワイ、ホノルルで6月5日~7日に開催される2007年IEEE MTT-S国際マイクロ波シンポジウムで同社の無線インフラ用最新GaAs pHEMT低雑音増幅器 (LNA) シリーズの展示と民生用 / 軍用の大電力GaNデバイスのデモを行うことを発表した。

展示されるのは携帯電話や WiMAX のインフラ向けに最適な RF386X ファミリーの LNA 製品。この 700MHz~3800MHz をカバーする広帯域 LNA は競合他社製品をおさえ低雑音特性 / 直線性の総合性能でクラス最高の性能を達成している。RF386X シリーズ LNA は CDMA、PCS、DCS、UMTS、WLAN、WiMAX といった用途での初段低雑音増幅 / リニアドライバとして最適な製品。

このLNAの展示の他、RFMD社では同社の展示ブースで48V動作の第一世代GaNトランジスタ技術を適用したRF製品について2種類のデモを行う。

その1つは RF393X ファミリー製品である 48V 動作の 120W 出力 GaN 大電力トランジスタ、RF3934 の RF 出力性能についてのデモ。RF393X ファミリーの出力範囲は 10W~120W で、同調可能な帯域幅が極めて広いことが特長で、このデモでは競合する GaAs やシリコンのデバイスと比較し、出力と帯域幅の組み合わせから見た GaN 技術の総合的な優位性をアピールす

る。RF393X ファミリーはピーク出力での効率が非常に高いため放送局や携帯電話無線基地局、大電力レーダー、航空・宇宙関連のアプリケーションに適している。

もう一方は RF382X ファミリー製品、28V 動作の 10W 出力 GaN 広帯域高出力 IC、RF3825 の RF 出力性能についてのデモ。周波数範囲 225MHz~1800MHz をカバーする RF3825 は、RF382X ファミリーで最も広帯域な製品で、単一デバイスとしてマルチオクターブ帯域で 10W の出力が得られ、競合する他のデバイスと比べ小型化されていることが特長。RF382X ファミリーはその動作帯域全体でピーク出力での効率が非常に高いため、3G 携帯電話基地局、軍用通信機器、ソフトウェア無線機、業務用移動無線等のアプリケーションに適している。

上記以外にも、同社が業界をリードする GSM/GPRS、EDGE、CDMA、WCDMA 用の携帯端末用フロントエンドや GSM/GPRS、EDGE 端末用の POLARIS™ TOTAL RADIO™ ソリューション、WLAN フロントエンド、ソフトウェア GPS ソリューションなど各種の高集積度 RF ソリューションが展示される。

RFMD 社はハワイ州ホノルルにあるホノルル・コンベンション・センターで 6 月 5 日~7 日に開催される 2007 年 IEEE MTT-S 国際マイクロ波シンポジウムに参加し、同社が業界をリードする携帯電話用フロントエンド・ソリューションや無線インフラ製品の展示を行う。ブース番号は 801。

RFMD について： RFMD 社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム / ソリューションの設計、製造を行う会社で、業界のグローバル・リーダー。RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与する。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は世界中の主要な移動通信機器メーカーに選ばれ、現在および将来の市場要求を満たす最新の無線機能を提供している。

ノースカロライナ州グリーンズボロの拠点を本社とする RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証を取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持っている。RFMD 社は「RFMD」の略号で米ナスダック市場に上場している。詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合があります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウエハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###